

Olive News

オリーブ 便り



基本理念 患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

さぬき高松まつりに『かだい病院連』として参加しました!

香川大学医学部 総務課総務係

8月14日(水)に開催されました第57回さぬき高松まつり総おどりに『かだい病院連』として初めて参加しました。

医学部長、病院長をはじめ、医師、看護師から事務職員、そして学生の有志、教職員の家族に至るまで総勢90名が参加しました。

振付とTシャツのデザインは当院の職員が考案し、Tシャツのデザインには、当院のマスコットキャラクターである「くーちゃん」を入れました。

当日は、19時になっても、30度を超える猛暑の中、力いっぱい踊りました。演舞終了後は、心地良い疲労感とともに、最後まで踊りきった達成感に、しばし酔いしました。



イベントカレンダー 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
9/23 (祝)月	9:30~12:00	香川大学医学部附属病院 福利厚生施設棟2階	香川県アレルギー疾患医療拠点病院事業 「親子アレルギー教室」	医療支援課 医療連携支援係	(087)891-2468
9/27 (金) 9/28 (土)	8:30~18:30	サンポート高松 かがわ国際会議場	日本Acute Care Surgery 学会 学術集会 https://www.kwcs.jp/16jsacs/	消化器外科	(087)891-2438
10/5 (土)	13:00~15:00	丸亀町レッツホール・ カルチャールーム	ホスピス緩和ケア週間イベント https://forms.office.com/r/zbHUPit2kb	緩和ケアセンター	(087)898-5111
10/20 (日)	13:00~	坂出市民ホール	令和6年度 中讃地域脳卒中・心臓病県民講座 ～生涯大切にしたい脳と心臓～	脳卒中・心臓病等 総合支援センター	(087)891-5684

令和6年度香川大学医学部附属病院 関係医療機関懇談会を開催しました。

香川大学医学部附属病院 副病院長(教育・広報・地域連携担当) 岡野 圭一

7月4日(木)高松市内のホテルにおいて、令和6年度関係医療機関懇談会を開催しました。この懇談会は地域の関係医療機関との診療連携や協力体制をより強化すること及び大学病院の現状等を報告することを目的としています。県内および隣県の関係医療機関から病院長等60名、本院から46名の総勢106名の参加がありました。

冒頭に門脇則光病院長から挨拶および大学病院の現状と将来構想についての報告があり、次に、昨年の関係医療機関懇談会以降に教授に就任された麻酔・ペインクリニック科 荻野祐一教授、消化器内科 小原英幹教授、総合診療科 市来智子教授より各診療科における教育・研究・診療の概要等の紹介を行いました。

最後に、ご参加いただいた関係医療機関から石井知也院長(さぬき市民病院)、市原典子院長(高松医療センター)、中山正吾院長(高松赤十字病院)の3名の先生より医療機関の取り組みについてご講演いただきました。

引き続き開催された懇親会では、活発な意見・情報交換が行われ、盛会のうちに終わることができました。



がん化学療法看護認定看護師(がん薬物療法看護認定看護師) 紹介

香川大学医学部附属病院 看護部 大上 幸子

がん化学療法看護認定看護師(2021年度から特定研修修了者はがん薬物療法看護認定看護師)は、抗腫瘍薬の安全な取り扱いや投与管理、副作用症状の緩和やセルフケアの支援などを役割として活動しています。

がん薬物療法は、近年従来のがん細胞や正常な細胞も攻撃する抗がん剤のみではなく、がん細胞を増殖するたんぱく質や遺伝子の変化などに対応した治療薬やがんに対する免疫の働きを高める治療薬など様々な薬剤による治療が行われています。それぞれの薬剤を組み合わせた治療が行われ、薬剤の投与方法や特徴的な副作用があります。患者さんが治療や副作用について理解し、副作用に対処できることは、がん薬物療法を受ける上でとても大切なことです。副作用に対するセルフケアには、周囲へ相談できるということも含まれます。患者さんと対処方法について一緒に考え、セルフケアの力を高めることができるよう取り組んでいます。

今は、治療の内容により異なりますが、多くの方が外来通院でがん薬物療法を受けることができるようになりました。通院で治療を受けることに不安を抱える方もいますが、副作用に対する予防や症状を緩和する方法があり、家で過ごすことにより食べたい物を食べ、家で過ごすことが体力の維持に繋がるというメリットがあります。家でゆっくりと過ごしたり、仕事や育児と両立しながらその人らしい生活を送れるようこれからも多職種で連携して活動していきたいと思えます。



診療科長の横顔

香川大学医学部附属病院 心臓血管外科 診療科長 堀井 泰浩

教室指針

心臓血管外科の対象は多岐にわたり、緊急対応が必要な疾患も多く、また緊急例では重篤な状態に陥り難易度も高いことが多く、救命のためにも即時対応を余儀なくされるので、受け入れを拒否することなく可能な限り対応することを指針として、教室員一同が労を厭うことなく日夜励んでいます。

救急受け入れ態勢、手術室対応など、現実的には受け入れ困難であることがあり、県内の心臓血管外科チームからの要請に応えることができず、香川県の最後の砦となり得ていないのが現状で、院内体制の整備が焦眉の問題です。

診療科紹介

心臓血管センターとして、心臓血管外科・循環器内科がハートチームとして垣根なく協働できる体制を構築しており、内科で診断し、薬物療法やカテーテル治療を先行させ、適応となればわれわれ外科チームが手術し、手術侵襲から脱した後は、再度内科チームで循環器治療を徹底するという、患者さん中心の医療を実践しています。



看護師長の横顔

香川大学医学部附属病院 心臓血管センター・CCU 看護師長 中村 かおり

ポリシー

看護師になって、20数年が経過しました。冗談でなく、本当にあっという間だったように思います。日々患者さんから学ばせていただくことに感謝し、患者さんとの出会いを大切にしたいと考えています。そして、この20数年の間に、医療や看護を取り巻く環境は大きく変化してきました。“昔はこうだった”とか、“変わらない”という固定観念に囚われず、環境の変化に柔軟に対応したいと考えています。

部署紹介

心臓血管センター・CCUは、心臓血管外科、循環器内科、抗加齢血管内科の病棟です。高度急性期から回復期まで、様々な病期の患者さんに合わせた看護を提供しています。心臓や血管の病気は、慢性的な経過をたどります。患者さんは、退院した後の病気との付き合い方がとても大切です。医師・看護師をはじめ、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカーなどが、チームで患者さんとご家族をサポートしています。



小中学生夏休み企画『臨床工学技士と一緒に 病院にある医療機器を体験しよう!』を開催しました。

香川大学医学部附属病院 スキルラボセンター

令和6年7月21日(日)県内の小学生・中学生を対象に、医療機器・医療手技の体験等をスキルラボセンターで開催しました。

小学生の部では、実際の医療現場でも着用されるスクラブを着て、肺の仕組みを学ぶため風船やストローを用いて肺モデルの工作を行うブースを設けました。

中学生の部では、実際に手術室で使用されている電気メスを用いて、バナナの皮の表面を焼き切り文字を書く体験を行いました。

その他の医療機器などの体験のあとにドクターヘリやドクターカーの見学を行いました。

なかなか経験できない貴重な体験ができたと思います。

今回のような経験が医療職に興味を持ち将来の進路選択にもなれるよう今後も実施していきたいと思っております。



第23回卒後臨床研修指導医養成講習会の開催報告

香川大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター センター長 安田 真之

去る8月24日(土)・25日(日)の2日間、福利厚生施設棟(調剤薬局)2階にて第23回香川大学医学部附属病院 卒後臨床研修指導医養成講習会を開催しました。

指導医養成講習会とは、研修医を受け入れ指導する病院側の指導者養成を目的とした講習会です。開催については、厚生労働省の指針の通り開催することが規定されており、報告書の提出も求められています。

今年度は、世話人の先生方(8名)の指導のもと、本院20名および県内の協力型臨床研修病院12施設より15名の計35名の先生方が受講され、厚生労働省医政局長認定の修了証書を授与いたしました。また、2020年度からの卒後臨床研修制度見直しにおける多職種による研修医評価の実施を踏まえ、本院看護師にも4名の参加をお願いしています。

今回より、田中 信一郎先生(中国四国厚生局健康福祉部医事課臨床研修審査専門官)、香川県(健康福祉部医務国保課)による特別講演等を事前動画にて視聴することになりました。そのため、講習会参加日にワークショップにより集中し、卒後臨床研修制度ならびに県行政における医師育成・確保施策の現状と今後の取り組みに関して、理解を深める貴重な機会となりました。

今後も、指導医育成を通じて、香川県の地域医療の充実に貢献できる医師育成に努めてまいります。ご協力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



ケーブルTVで放送中

イキイキさめき健康塾
香川大学医学部附属病院 医療セミナー

詳しくはこちら



9月のテーマ やさしく治す大腸がん -最新の外科治療について-
10月のテーマ 健康な股関節を取り戻そう:最新の低侵襲治療
11月のテーマ 前立腺がんの診断から治療まで

編集委員会(50音順)

(2024年6月現在)

岡内(外来)、岡野(副病院長)、寒川(総務)、小坂(薬剤)、近藤(医事)、多田(検査)、田中(病棟)、筒井(医療支援)、保科(管理)、森(看護)、門田(放射線)、横井(医療情報)〔委員長 門脇病院長〕